

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		食育啓発事業	担当課	のびのび子育て課・地域子育て支援センター
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち	計画期間	平成13年度～
	施策	健康づくりの推進	種別	任意の事務
	基本事業	食育の推進	市民協働	事業協力
予算科目コード		01-030201-09 単独	根拠法令・条例等	守谷市食育推進計画

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
「食」の大切さを伝えるため、保育所において平成13年度から食育推進を開始した。平成17年度に食育基本法が施行され、県では平成19年3月に茨城県食育推進計画を策定した。市においても平成24年度に「守谷市食育推進計画（計画期間：平成25度から4箇年）」を、平成28年度に「第二次食育推進計画（平成29年度から5箇年）」を策定し、市全体で食育を推進している。	・親子クッキング及び食に関する講話 全5回 ・食への関心を高める教室及び食の相談（子育て支援センター保護者対象）全4回 ・離乳食教室（子育て支援センター対象）全3回 ※前年度の比較：担当課の変更により、それに伴い事業費を移行したための減額。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市内未就学児及びその保護者に対して、料理教室や食に関する講話等、さまざまな経験機会を提供することで「食」に関する知識と「食」を選択する力、健全な食生活を実践する力を習得してもらい、児童の心身共に健全な育成につなげる。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市民が、食に関する正しい知識を身に付け、食事や栄養に気をつけることができるようにする。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
・親子クッキング，食育講座ともに参加者は多い傾向にある。特に親子クッキングは，毎回応募超過であり，父親の参加も多いことから未就学児と保護者に対する食育啓発ができています。 ・アンケートの結果からは，講座内容が役に立つとの回答が多く，さらには，多くの食育事業を希望していることがわかった。 ・担当人員不足のため，開催回数の増加が難しい。	今年度の内容 <親子クッキング> ・野菜をたくさん食べようホームページ・動画掲載 ・クリスマスクッキング(令和2年12月実施予定) ・野菜をたくさん食べよう(令和2年2月実施予定) <ひろばの食育講座> ・離乳食の進め方（令和2年10月実施） ・噛むことの大切さ（令和2年12月実施予定） ・楽しく食事をするために（令和3年2月実施予定）
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
・ボランティア等を活用し，親子クッキング，食育講座の開催数を増やす。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐増加 ☐維持 ☐削減	

R02年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R03年度の振り返り）	
R02年度の評価（課題）	R03年度を取組（評価、課題への対応）
・コロナ禍において新型コロナウイルス感染予防対策を徹底しながら食育講座・クッキングを開催した。食育への関心が高まる中、人数制限等で参加者数が限られてしまうため、食育動画の配信・ホームページでのレシピ等の紹介を行った。 ・講座参加者の満足度は高いものの、個々の食育相談が増えてきている為、対面相談や食育相談会の実施が必要と感じる。 ・保健センター改修工事のため、北守谷公民館を借用しての開催となったが、入館制限もあり、1日2部制にするなど希望者に応える企画を考慮した。	親子クッキング（全1回） ・クリスマスクッキング（令和3年12月） 食育講座 ・食品栄養やその効能等食に関する講話（全4回） ホームページ・Youtubeでの啓発 ・離乳食のレシピ紹介（全1回） ・離乳食の作り方動画（全1回） ・苦手な野菜克服し、野菜の摂取を高めるクッキング動画（全1回） 感染症対策を徹底し安全に配慮した事業開催に努めた。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値（R03）
教室に参加した人数（人）	306.00	326.00	315.00	268.00	88.00	68.00	90.00
アンケート調査で食に関心を持ち食生活を見直すという回答をした割合（％）	85.70	98.70	96.00	88.40	84.00	93.00	85.00
成果の動向（→その理由）							
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	新型コロナウイルス感染症の影響によりクッキングの開催数は減となったが、各ひろばでの講座を開催することができ、参加者の満足度も高い。離乳食講座の進め方をグループワークで相談ができる食育相談会としたことで、参加者からも好評だった。今後も子育て中の母親・父親に必要な情報を提供し、実践可能な事業が行えるよう検討・考案に努めていく。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努め、親子が楽しく学べる事業を開催。子どもの健康・意欲を高める健全な食生活を実施する知識・力を習得できるよう事業開催形式及び内容を検討し、児童の健全育成に努めていく。また父親の参加促進を図り、保護者が協力し食に関心を持てるよう啓発していく。						

コストの推移						
項目		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	R05年度見込
事業費	計	1,380	49	35	81	81
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	31	10	4	16	16
	一般財源	1,349	39	31	65	65
正職員人工数（時間数）		200.00	73.00	119.00	132.00	132.00
正職員人件費		821	296	460	0	0
トータルコスト		2,201	345	495	81	81